

平成22年度の年度計画に沿った収支計画の計画額及び実績額は以下の通りである。

平成22年度収支計画

(単位：百万円)

区 別	計 画 額	実 績 額	差 額
費用の部	6,326	4,007	2,319
經常費用	6,326	4,007	2,319
業務経費	4,544	2,222	2,322
一般管理費	209	212	△4
人件費	1,303	1,252	51
減価償却費	260	308	△48
財務費用	10	12	△2
収益の部	6,327	4,008	2,319
經常収益	6,327	4,008	2,319
運営費交付金収益	6,076	3,678	2,398
事業収入等	143	218	△75
資産見返運営費交付金戻入	108	112	△4
經常利益	1	1	△0
臨時利益	—	—	—
臨時損失	—	0	△0
目的積立金取崩	—	—	—
当期総利益	1	1	△0

(注) 各欄積算と合計欄の数字は、四捨五入の関係で一致しないことがある。

【実績額の説明】

1. 費用の部の「業務経費」の実績額が計画額に比し減少しているのは、既定予算分については、情報システム機器の借料等削減やその他の経費の抑制を図ったことによるほか、「地方支援事業」に係る予算の執行少なかったためである。
2. 収益の部の「運営費交付金収益」の実績額が計画額に比し減少しているのは、22年度既定予算分について、経費抑制により収益化しなかったことによるほか、「地方支援事業」に係る予算を収益しなかったためである。
3. 「事業収入等」の実績額が計画額に比し増加しているのは、図書雑誌出版収入、研修宿泊収入及び利子収入の増収によるものである。

平成22年度の年度計画に沿った資金計画の計画額及び実績額は以下の通りである。

平成22年度資金計画

(単位：百万円)

区 別	計 画 額	実 績 額	差 額
資金支出	13,543	33,824	△20,280
業務活動による支出	6,059	4,090	1,970
投資活動による支出	3,557	20,071	△16,514
財務活動による支出	161	204	△44
翌年度への繰越金	3,766	9,459	△5,693
資金収入	13,543	33,824	△20,280
業務活動による収入	3,345	3,431	△86
運営費交付金による収入	3,202	3,202	0
事業収入等	144	229	△86
投資活動による収入	3,515	20,009	△16,494
財務活動による収入	—	0	0
前年度からの繰越金	6,683	10,384	△3,701

(注) 各欄積算と合計欄の数字は、四捨五入の関係で一致しないことがある。

【実績額の説明】

1. 資金支出の「業務活動による支出」の実績額が計画額に比し減少しているのは、人件費の支出が、人事院勧告を踏まえ給与のマイナス改定及び昇給幅の抑制を行ったため計画額より少なかったこと、及び、地方支援事業の執行額が、計画額より少なかったためである。また、「投資活動による支出」の実績額が計画額に比し増加しているのは、定期預金の預入及び有形固定資産の取得のための支出が多かったためである。
2. 資金収入の「事業収入等」の実績額が計画額に比し増加しているのは、図書雑誌出版収入、研修宿泊収入及び利子収入が増加したためである。また、「投資活動による収入」の実績額が計画額に比し増加しているのは、定期預金の払戻による収入が多かったためである。